

平成25年度生涯学習関係職員実践講座(実践編)の報告

佐賀県立生涯学習センターでは、生涯学習・社会教育関係職員に必要な知識や実践力を身につける「生涯学習関係職員実践講座」(基礎編・実践編・課題編)を行っています。

9月4日(水)、26日(木)の2日間、『社会教育による地域づくりを考える』～出会いと学びで絆を紡ぐ～をテーマに実践編の講座を開催しました。

1日目 9月4日(水)

(1)社会教育で仕掛けるコミュニティの再生 山形県発「だがしや楽校」おすそ分けの学び合いからの縁育て



【講師】

松田 道雄 さん
(東北芸術工科大学芸術学部教授)

全国各地で開催されている松田先生考案の「だがしや楽校」。その実践を通して見えてきた成果紹介や受講者による「自分みせ」の体験を交えていただきながら、地域や人をつなげる仕組みの重要性と現場の実践における仕掛けの必要性について、ご指導いただきました。

※だがしや楽校とは

自分の趣味、特技などの持ち味を、自分みせ(店・見せ)として披露する場を開き、地域の中での新たな人との出会いを通して、自分も地域でさらにイキイキとしていこうという活動の総称。



東京都杉並区で開催された「すぎなみ大人塾だがしや楽校」の取り組みから、メンバーの話し合いを活性化させる仕掛けや、新たな人づきあいを広げる仕組み、キーパーソンとなる社会教育主事の意識の持ち方など、幅広い視点で紹介いただきました。また、追跡調査を取り入れた評価活動の仕組みについても説明いただき、学びの成果を数値で示す重要性についても学びました。

(2)発想の転換を活かした企画づくり ～アイデアの出し方・活かし方～

午後の時間は、受講者に持ち寄ってもらった「みんなに紹介したいコトやモノ」で「自分みせ」を体験しました。



わがまちのゆるキャラグッズや地域で売り出し中の塩、手作りのかごバックに、カメラ歴数十年の腕前を納めた写真など、実にさまざまな自分みせ(見せ)が会場に広がりました。

(←会場では、自分の関心あるところにちらばり、コトやモノを介してゆるやかな自由交流を行いました)

参加者に「何でもいから持参して!」と呼びかけると、その瞬間から目に見えない仲間づくりやコミュニティづくりにつながることを、今回の体験から学ぶことができました。

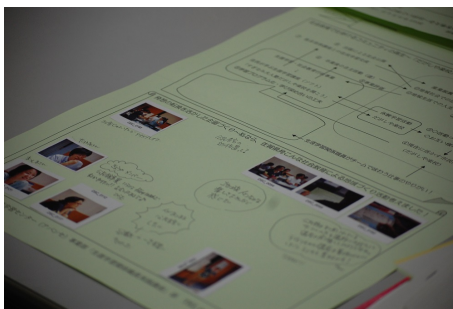


(←自由交流のあと、急きょ、自分みせの中で紹介されたレクリエーションをすることに！おいおい盛り上がり、予期せぬ学びを体験しました)

～グループワークの様子～



(一人ひとりがより話すことができる組み合わせは3～4人組。隣にいる人を気にしながら全体を気遣うおもしろい感覚もうまれるそうです)



この他、だかしや楽校の事例を参考に“(私なら)佐賀県発こんな社会教育による地域づくり活動をやってみたい”を考えてみました。その場にいるみんなでひとつのチームになる、自由な遊び心で楽しく作り上げていく感覚を、それぞれの地域に持ち帰り、これからの仕事に活かしていただきたいと思います。

(ワークシートに講座写真を切り貼り。ちょっとした楽しさの演出)

受講者の声(講座アンケートより抜粋)

- もう少し踏み込んで、地域の中に入っていく勇気ができました。積極的に動こうと思います。
- とにかく楽しめました。これまで個人的な趣味などの企画案は出せなかったが、それを発想の転換で変えていくおもしろさがわかりました。
- 公民館の中だけでなく、どんどん外に出て開かれた活動が地域の人をつないでいくのだと思いました。
- 地域づくり、後に発展するような講座の企画。それに波紋を与えるような展開の仕方などとても参考になりました。

2日目 9月26日(木)

(1)地域課題との向き合い方 ～「循誘公民館の応援団づくり」その一步に学ぶ～

平成24年度佐賀県立生涯学習センター事業「課題解決支援講座」より、佐賀市教育委員会および佐賀市立循誘公民館との共同企画「地域でみつかるあなたの幸せ」の取組み事例から、地域課題への向き合い方について考えました。



【講師】

上野 景三さん(佐賀大学文化教育学部教授)

「地域でみつかるあなたの幸せ」講座でも講師として企画段階からご指導いただいた上野先生のコーディネートで、登壇者の方々が共同企画に取組まれての学びや気づきを引き出していただきながら、講座を振り返りました。

■■■登壇者のみなさん■■■

坂井袈裟宜さん(佐賀市立循誘公民館長)



当初は講座が終わればすぐに地域活動に積極的に関わってくれる人がでてくれるものと、甘い期待を持っていました。しかし、地域の方はまずは話し合える場が欲しかったのではないかと気づきました。講座終了後、あらためて呼びかけたお茶ご会で、公民館でこんなことをやってみたい学んでみたい、という声がどんどん寄せられました。そこから毎月10日はカレーの日の企画が生まれ、公民館で住民同士の新たな交流がスタートしています。



鶴 ちふみさん(佐賀市立循誘公民館主事)

地域に住む人達が幸せだと感じる方法は何だろうと職員3人でいつも話し合っていました。共同企画の力を借りることで道が開けていくのではないかと考えました。講座では住民の方のいろんな反応を捉える事ができ勉強になりました。講座終了後のお茶ご会で、反応が今一つだった住民の方から「日ごろ自分の思っている事を書いたり話したりする機会はないので、講座に参加してよかったよ」という声をいただき、大きな喜びを感じました。



池田恵太さん(佐賀市立新栄公民館主事・前循誘公民館主事)

日ごろから職員で校区への想いを語り合える環境がありました。それが、公民館以外の力を借りてでも何とかしたいという思いにつながったと思います。講座が進む中、迷いや不安を感じる場面もありましたが、充実した企画会議の積み重ねで払拭し、ねらいをもった講座展開や受講者の反応の拾い方など、今まで知らなかった事を学び、経験することができました。そして、なにより地域のことを把握しながら進めていく大事さに気づかされました。

講師からは、講座当日だけが勝負なのではなく、始まる準備段階から各回をつなぐ企画会議、前回の講座内容を掲載した通信編集など、前回は踏まえて次回をどう展開するかという全体の流れを考える大切さや、講座終了後に何をするのか常に考えながら取り組む必要があると、公民館事業の取り組み方についてお話いただきました。また、校区をどうしたらいいのか、自分の幸せや地域の幸せについて疑問に思っている事などを、日ごろから職員同士で話合う場を持つ大切さについても述べられました。

(講座終了後スタートした公民館カレーの日・循誘公民館入口↑)



 [平成24年度課題解決支援講座「地域でみつけるあなたのしあわせ」レポートはコチラをご覧ください.pdf\(1340KB; PDFファイル\)](#)

(2)あなたのまちの課題はどこに ～地域の現状診断には何が必要か～

後半はグループに分かれ、循誘公民館の取り組み事例を聴いてどのような感想をもったか、自分の地域課題は日ごろどのようにして捉えているかなどの討議を行いました。



循誘公民館の取り組みについて、『受講生の反応を振り返りながら次回を計画していったことが、成果につながったと思う』『カレーの日につながっていく流れがおもしろい。地域のためにできることに結果的につながっている』などの感想が寄せられました。地域課題の捉え方については、『統計資料や住民との対話から発見する』『住民との雑談が大切』『職員と地域の方との温度差や違いをよくみるようにしている』『職員はもっと地域に出て、地域を知る必要があるのではないか』など、さまざまな意見が交わされました。

受講者の声(講座アンケートより抜粋)

- 公民館は館長と主事の想いの共有化が本当に必要だと感じました。
- 試行錯誤の末に得られた成果という事例が、他の公民館にとっていい刺激になったと思います。
- 地域の方との対話を大事にして、職場内のコミュニケーションも十分にとることが大事だと痛感しました。
- 失敗したかなと思って、それをどう先につなげていくのかななどの意識の持ち方は参考になりました。



 [アクセス・交通機関のご案内](#) ▶

 [お問い合わせ/ご意見・ご要望](#) ▶

アバンセ

佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター

〒840-0815

佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんどんの森内)

TEL:0952-26-0011 FAX:0952-25-5591

【指定管理者】[公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団](#)

Copyright (C) 2011 Avance All rights reserved

開館時間

火曜～土曜日:8時30分～22時00分

日曜・祝日:8時30分～17時00分

(ホールは22時00分まで)

休館日

毎週月曜日(祝日も含む)

12月29日から翌年1月3日まで